

篠島・日間賀島の概要



平成24年10月
愛知県南知多町



— も く じ —

1	沿 革	- 1 -
2	両島の概要	
(1)	篠 島	- 1 -
(2)	日間賀島	- 2 -
3	各種データ	
(1)	自 然	
①	月別平均気温	- 4 -
②	月別降水量	- 4 -
③	年別気温・降水量	- 5 -
(2)	面積の推移	- 5 -
(3)	世帯数・人口	
①	世帯数・人口の推移（国勢調査）	- 6 -
②	世帯数・人口の推移（住民基本台帳）	- 7 -
③	年齢（5歳階級）別人口の推移（国勢調査）	- 8 -
(4)	産業別15歳以上就業者数の推移（国勢調査）	- 11 -
(5)	事業所	- 14 -
(6)	工 業	- 16 -
(7)	漁 業	
①	漁業経営体の基本構成	- 17 -
②	主とする漁業種別経営体数	- 17 -
③	魚種別漁獲金額・漁獲量	- 18 -
④	漁種別水揚量	- 18 -
⑤	漁港施設の現況	- 19 -
(8)	保育所の状況	- 20 -
(9)	小学校の状況	- 20 -
(10)	中学校の状況	- 21 -
(11)	高等学校の状況	- 21 -
(12)	定期航路の状況	- 22 -
(13)	離島交通費助成事業	- 22 -
(14)	目的別観光客数の推移	- 23 -
(15)	医 師	- 23 -
(16)	水道事業の現況	- 23 -
(17)	廃棄物処理施設整備状況	- 24 -
(18)	自動車等の保有状況	- 24 -
(19)	消防施設等の整備状況	- 25 -
(20)	島の歴史（明治以降）	- 26 -
(21)	トピックス	- 32 -
(22)	位置図	- 39 -

1 沿 革

南知多町は、知多半島南部に位置し、半島の先端と沖合に浮かぶ篠島・日間賀島などの島々から成っています。北部は美浜町に接し、三方が海で東に三河湾、南西は伊勢湾に面し、面積 38.25 km² (平成 23 年 10 月 1 日現在) の町です。

東西に 15.0 km、南北に 12.1 km で、北西部の伊勢湾側には半島最高の高峯山 128m があり南部に高く北部に低い地形です。

本町は、知多半島南部の内海町・豊浜町・師崎町・篠島村及び日間賀島村の 5 か町村が合併して昭和 36 年 6 月 1 日に誕生しました。

愛知県には、「愛知三島」と総称される 3 つの離島があり、本町にはその内の 2 つ「篠島」「日間賀島」があります。この篠島・日間賀島は、いずれも本土から比較的近距离にありますが、離島ゆえに持つ自然的・土地的条件により、本土と比較し島民生活には様々な制約があります。そうした格差の是正、島民生活の安定、福祉の向上などを図るため、篠島村、日間賀島村、一色町（佐久島村は昭和 29 年 8 月 1 日一色町と合併）及び県の強い働きかけによって、昭和 32 年 12 月 23 日の第 7 次指定において、離島振興法（昭和 28 年制定）の指定地域、「愛知三島」として一括離島振興対策実施地域に指定されました。以後 3 島振興のため、国、県、市※1、町が一体となり、事業を継続実施し、各種の振興策を進めています。

また、風光明媚であるため、三河湾の島しょ景観の中心として 3 島とも昭和 33 年 4 月に三河湾国定公園に指定され、さらに平成 3 年 3 月に三河湾地域リゾート整備構想の重点整備地区に指定されています。

※1 平成 23 年 4 月 1 日に西尾市、一色町、吉良町、幡豆町の 1 市 3 町が合併して「西尾市」となりました。

2 両島の概要

(1) 篠 島

篠島は、本土から最短距離で 3.0 km の南東海上にある面積 0.94 km²、周囲 8.2 km の島で、全域三河湾国定公園に指定されています。地質は、主に石英、斜長石、黒雲母、角閃石の鉱物からできている花崗閃緑岩で、南北に細長い地形をなした本島と、その北部に位置する木島・中手島・小磯島・築見島、南部には野島・松島など多くの無人島から成り立っており、このうち中手島・小磯島は昭和 49 年に 17.2ha の埋立てが行われ、現在は本島と陸続きになっています。そして、島の西部から南部にかけて標高 49.1m の地点を頂点として

起伏の険しい地帯が続いており、海岸は比較的硬い岩盤から成っていますが、台風時の激浪などにより、浸食が進んでいるところもあります。

人家は、篠島漁港に面する北部から、東部の海水浴場に至るまでの間に密集した状態で集落を形成しています。

人口は1,763人、世帯数が634世帯（平成22年国勢調査）です。国勢調査の過去5年間では6.1%減少しており、平成17年国勢調査時の減少率7.9%と比較すると減少割合はややおさまっているものの、依然として人口流出が続いています。また、65歳以上の高齢者人口比率は平成22年国勢調査では29.4%となっています。人口密度は、1,875.5人/km²となっています。

産業は水産業と観光サービス業が中心です。水産業は船引網などの漁船漁業が主体で、魚種は、シラス、イカナゴ等の水揚げが多く、これらの水産加工業も盛んです。また、冬場には、ノリ、ワカメの養殖も行っています。近年は、水産資源の保護増殖を図るため、アワビ、トラフグ、ナマコ、ミルクイ等の種苗放流も行っています。

観光は交通の便も比較的良く、宿泊施設も多く、受入体制も整っていることから海水浴、釣り目的の観光客が年間約20万7千人訪れています。最近では、ハモ料理を売り物として観光客誘致を図っています。

生活環境としては、電気、水道、電話の普及率は100%です。また、し尿、ごみについては、島内処理を行っていましたが、施設の老朽化やダイオキシン対策に伴い、し尿処理を平成14年4月より半島側で行い、ごみについては、平成14年10月から半島側で処理を行っています。埋立処分地施設については、島内の既存施設を利用しています。

教育施設としては、鉄筋コンクリート造の小・中学校が各1校あり、昭和55年4月には、中・高一貫教育を目指し、県立高校の分校が開校されていましたが、入学者数の減により平成16年3月に廃校となりました。平成8年には、浦磯にプールも建設されました。社会教育関係施設としては、昭和55年度に離島開発総合センターが設置され、学習・文化・社会活動の拠点として利用されています。また、保育園（私立）は1か所設置されています。

医療関係では、公的病院の付属診療所が平成3年10月に開設され、医師が週5日本土から通って診療を行っています。また、歯科も民間医師により週1回開業されています。

(2) 日間賀島

日間賀島は、本土から最短距離で1.8kmの東海上にある面積0.77km²、周囲6.6kmの島で、全域三河湾国定公園に指定されています。地質は師崎層群の最も下部の地層から成り立っていて、砂岩、泥岩、凝灰岩等でできており、島の中央にある標高30.2mの小高い丘

を中心として、周囲に向かってなだらかな丘陵地を形成しています。海岸一帯は浸食が著しいため昭和 39 年度から護岸の新設工事を進め昭和 59 年度に完成しました。

人家は、東海岸の里中地区と西海岸の西浜地区の漁港付近に密集し、それぞれ集落を形成しています。

人口は 2,051 人、世帯数が 630 世帯（平成 22 年国勢調査）です。国勢調査の過去 5 年間は 5.2%減少し、平成 17 年国勢調査時の減少率 2.6%と比較すると減少割合は増加傾向にあり、依然として人口流出が続いています。また 65 歳以上の高齢者人口比率は、平成 22 年国勢調査では 28.7%となっています。人口密度は、2,663.6 人/km²となっています。

産業は水産業と観光サービス業が中心です。水産業は小型底引網、刺網などの漁船漁業によるエビ、カニ、カレイ、トラフグ等の漁や冬場におけるノリ、ワカメの養殖で、これらの水産加工業も営まれています。また、近年は、水産資源の保護増殖を図るため、アワビ、トラフグ、ナマコ、ミルクイ等の種苗放流も行っています。

観光は交通の便も比較的良く、宿泊施設も多く、受入体制も整っていることから海水浴や釣り目的の観光客が年間約 25 万 3 千人訪れています。タコ・フグを売り物とし、最近は“ようこそ日間賀島 自然体験ワールドへ”のキャッチフレーズで地引網、干物づくりなどの漁業体験、捕れた魚を浜で網焼きするバーベキューなどの観光体験メニュー、ミルクイの特産品化等にも取り組んでおり、観光客誘致を島全体で図っています。

生活環境としては、電気、水道、電話の普及率は 100%です。また、し尿、ごみについては、島内処理を行っていましたが、施設の老朽化やダイオキシン対策に伴い、し尿処理を平成 13 年 9 月より半島側で行い、ごみについては、平成 14 年 10 月から半島側で処理を行っています。埋立処分地施設については、島内の既存施設を利用しています。なお、し尿処理については、平成 8 年度より漁業集落環境整備事業に着手し、平成 15 年 8 月より供用が開始され、生活環境の改善に成果を上げています。

教育施設としては、鉄筋コンクリート造の小・中学校が各 1 校あり、中学校には昭和 58 年度に理科実験室などの特別教室も増築されました。また、昭和 55 年 4 月には、中・高一貫教育を目指し、県立高校の分校が開校されていましたが、入学者数の減により平成 13 年 3 月に廃校となりました。社会教育関係施設としては、昭和 54 年度に公民館が開設され、島民の社会活動の拠点として利用されています。また、保育所（町立）は 1 か所設置されています。

医療関係では、町が建設した診療所で、開業医が週 4 日本土から通って診療を行っています。また、歯科も島に常駐の民間医師が開業しています。

3 各種データ

(1) 自然

① 月別平均気温

単位：℃

区分	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
17年	15.5	5.3	5.2	7.9	14.3	17.7	22.8	25.5	27.0	24.7	19.0	12.1	4.9
18年	15.5	4.4	5.6	7.5	12.4	17.9	22.0	25.3	27.1	23.3	19.2	13.5	8.0
19年	16.1	6.6	7.8	9.0	13.3	17.8	22.0	24.1	27.8	25.1	18.7	12.4	8.2
20年	16.1	5.3	4.1	10.0	14.7	18.9	21.7	26.9	27.3	23.8	19.0	12.7	8.5
21年	16.2	5.9	7.6	9.3	14.5	19.0	22.4	25.8	26.5	23.5	18.4	13.3	8.4
22年	16.5	5.7	7.3	9.3	13.0	18.0	22.9	27.0	28.6	25.6	19.3	12.5	8.6
23年	16.0	4.1	6.6	7.4	13.0	18.3	22.9	26.6	27.6	24.7	18.7	14.4	7.8

資料：名古屋地方気象台

② 月別降水量

単位：mm

区分	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
17年	888.0	11.0	61.0	96.0	57.0	56.0	74.0	193.0	50.0	107.0	153.0	24.0	7.0
18年	1,564.0	39.0	116.0	82.0	127.0	203.0	194.0	202.0	15.0	209.0	156.0	91.0	130.0
19年	1,361.0	39.0	71.0	55.0	38.0	134.0	173.0	355.0	57.0	199.0	111.0	20.0	109.0
20年	1,730.5	40.0	49.0	151.0	261.0	281.5	207.5	42.5	196.0	242.5	127.5	73.5	58.5
21年	1,766.5	125.5	71.0	104.0	122.0	265.5	209.0	154.0	141.0	49.5	251.0	181.5	92.5
22年	1,541.5	14.5	118.5	187.5	171.0	116.5	183.5	196.5	41.5	181.5	216.5	47.0	67.0
23年	1,429.5	0	83.5	44.0	89.0	230.5	210.5	197.0	85.0	247.5	168.0	51.0	23.5

資料：名古屋地方気象台

③ 年別気温・降水量

区 分		19年	20年	21年	22年	23年
気 温 (°C)	平 均	16.1	16.1	16.2	16.5	16.0
	最 高	36.1	35.6	34.5	36.1	35.9
	最 低	-0.9	-2.4	-2.9	-1.5	-2.7
降水量 (mm)	総 量	1,361.0	1,730.5	1,766.5	1,541.5	1,429.5
	日最大降水量	117.0	149.0	135.5	78.0	77.5

資料：名古屋地方気象台

(2) 面積の推移

各年10月1日現在

区 分	南知多町	(篠 島)	(日間賀島)
	k m ²	k m ²	k m ²
8年	38.22	0.92	0.76
9年	38.22	0.92	0.76
10年	38.22	0.92	0.76
11年	38.24	0.93	0.77
12年	38.24	0.93	0.77
13年	38.24	0.93	0.77
14年	38.24	0.93	0.77
15年	38.24	0.93	0.77
16年	38.24	0.93	0.77
17年	38.24	0.93	0.77
18年	38.24	0.93	0.77
19年	38.24	0.93	0.77
20年	38.24	0.93	0.77
21年	38.24	0.93	0.77
22年	38.24	0.93	0.77
23年	38.25	0.94	0.77

資料：地域振興課

(3) 世帯数・人口

① 世帯数・人口の推移 (国勢調査)

各年10月1日現在

区分	南知多町			(篠 島)			(日間賀島)		
	世帯数	人 口		世帯数	人 口		世帯数	人 口	
		総 数	うち男		総 数	うち男		総 数	うち男
年	世帯	人	人	世帯	人	人	世帯	人	人
大正 14	4,556	21,088	10,579	446	2,237	1,124	349	1,702	944
昭和 5	4,620	22,071	11,050	468	2,374	1,203	373	1,951	1,076
10	4,668	22,537	11,302	475	2,532	1,282	382	2,081	1,132
15	4,510	22,741	11,315	456	2,594	1,304	373	2,050	1,110
22	5,840	29,885	14,444	634	3,456	1,685	436	2,439	1,233
25	5,771	30,379	14,953	669	3,785	1,887	454	2,601	1,341
30	5,818	29,793	14,656	642	3,544	1,698	489	2,788	1,442
35	5,919	28,972	14,257	645	3,403	1,629	514	2,728	1,405
40	6,125	28,265	13,659	689	3,090	1,469	564	2,724	1,343
45	6,271	27,705	13,380	685	2,807	1,351	594	2,622	1,279
50	6,401	27,413	13,323	680	2,634	1,299	608	2,618	1,299
55	6,565	27,017	13,203	696	2,576	1,291	639	2,576	1,280
60	6,970	26,809	13,309	663	2,497	1,263	648	2,493	1,239
平成 2	7,104	25,954	12,874	655	2,352	1,190	658	2,397	1,178
7	7,161	24,846	12,185	654	2,220	1,098	639	2,285	1,117
12	7,120	23,250	11,328	652	2,040	1,004	645	2,221	1,079
17	7,077	21,909	10,627	638	1,878	939	639	2,164	1,060
22	7,196	20,549	9,948	634	1,763	884	630	2,051	1,008

資料：企画課

② 世帯数・人口の推移（住民基本台帳）

・南知多町

各年3月31日現在

区 分	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
年	世帯	人	人	人
16	6,987	22,624	11,030	11,594
17	6,988	22,347	10,886	11,461
18	7,043	22,089	10,750	11,339
19	7,027	21,729	10,575	11,154
20	7,018	21,373	10,400	10,973
21	7,042	21,112	10,261	10,851
22	7,053	20,789	10,112	10,677
23	7,034	20,392	9,945	10,447
24	6,989	20,032	9,742	10,290

・篠 島

区 分	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
年	世帯	人	人	人
16	625	2,064	1,030	1,034
17	616	2,025	1,008	1,017
18	621	1,996	999	997
19	617	1,958	981	977
20	603	1,910	953	957
21	603	1,896	940	956
22	603	1,878	930	948
23	602	1,841	913	928
24	597	1,820	901	919

・日間賀島

区 分	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
年	世帯	人	人	人
16	643	2,303	1,116	1,187
17	641	2,285	1,104	1,181
18	647	2,283	1,106	1,177
19	644	2,270	1,106	1,164
20	635	2,229	1,088	1,141
21	636	2,214	1,076	1,138
22	640	2,201	1,073	1,128
23	639	2,155	1,058	1,097
24	636	2,107	1,022	1,085

資料：住民課

③ 年齢（5歳階級）別人口の推移（国勢調査）
・南知多町

各年10月1日現在

区 分	1 2年		1 7年		2 2年		
	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男	
総 数	23,250	11,328	21,909	10,627	20,549	9,948	
0～4歳	901	464	747	392	594	306	
5～9	1,048	512	901	460	710	372	
10～14	1,334	660	1,029	504	899	453	
15～19	1,308	695	1,221	590	990	475	
20～24	1,366	749	1,140	602	1195	578	
25～29	1,263	654	1,007	535	928	505	
30～34	1,165	590	1,156	582	938	512	
35～39	1,396	706	1,142	585	1,069	551	
40～44	1,439	719	1,385	711	1,087	554	
45～49	1,606	836	1,391	700	1,363	704	
50～54	1,872	968	1,580	817	1,341	673	
55～59	1,582	784	1,836	960	1,532	791	
60～64	1,631	752	1,530	755	1,801	930	
65～69	1,714	806	1,537	696	1,449	697	
70～74	1,506	708	1,569	725	1,428	620	
75～79	1,009	402	1,328	585	1,350	587	
80～84	601	175	799	288	1,027	409	
85歳以上	509	148	611	140	827	214	
3 区 分	0～14歳	3,283	1,636	2,677	1,356	2,203	1,131
	15～64歳	14,628	7,453	13,388	6,837	12,244	6,273
	65歳以上	5,339	2,239	5,844	2,434	6,081	2,527
不 詳		—	—	—	—	21	17

※平成22年国勢調査より不詳欄が追加された。

資料：企画課

区 分	12年		17年		22年		
	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男	
総 数	2,040	1,004	1,878	939	1,763	884	
0～4 歳	106	48	71	37	66	37	
5～9	101	50	93	44	71	37	
10～14	97	53	97	49	95	45	
15～19	93	48	60	29	65	35	
20～24	65	39	63	42	48	26	
25～29	115	65	72	41	85	50	
30～34	113	62	105	57	71	40	
35～39	116	63	114	62	101	52	
40～44	137	77	116	65	109	60	
45～49	130	65	133	73	115	66	
50～54	194	98	131	68	130	72	
55～59	161	79	183	91	123	63	
60～64	151	70	156	77	166	79	
65～69	143	69	140	65	145	72	
70～74	146	65	124	56	123	52	
75～79	100	35	116	49	108	51	
80～84	42	13	75	25	85	28	
85 歳以上	30	5	29	9	57	19	
3 区 分	0～14 歳	304	151	261	130	232	119
	15～64 歳	1,275	666	1,133	605	1,013	543
	65 歳以上	461	187	484	204	518	222

資料：企画課

・日間賀島

各年10月1日現在

区 分	12年		17年		22年		
	総数	うち男	総数	うち男	総数	うち男	
総 数	2,221	1,079	2,164	1,060	2,051	1,008	
0～4 歳	103	41	99	58	93	45	
5～9	113	52	99	42	94	55	
10～14	140	66	112	51	102	42	
15～19	60	39	93	51	71	36	
20～24	89	57	70	45	56	32	
25～29	124	69	106	57	81	44	
30～34	106	52	121	64	113	61	
35～39	141	70	110	56	117	66	
40～44	150	71	143	73	110	55	
45～49	163	91	139	62	146	76	
50～54	202	100	163	90	132	61	
55～59	155	81	195	96	151	80	
60～64	168	75	149	77	197	96	
65～69	169	69	164	69	141	69	
70～74	134	73	157	65	154	63	
75～79	98	47	128	64	128	50	
80～84	57	11	70	29	101	51	
85 歳以上	49	15	46	11	64	26	
3 区 分	0～14 歳	356	159	310	151	289	142
	15～64 歳	1,358	705	1,289	671	1,174	607
	65 歳以上	507	215	565	238	588	259

資料：企画課

(4) 産業別15歳以上就業者数の推移 (国勢調査)

・南知多町

各年10月1日現在

区 分	12年	区 分	17年	区 分	22年
総 数	12,295	総 数	11,728	総 数	10,808
第1次産業	2,697	第1次産業	2,460	第1次産業	2,014
農 業	922	農 業	875	農 業	663
林 業	1	林 業	—	林 業	—
漁 業	1,774	漁 業	1,585	漁 業	1,351
第2次産業	3,178	第2次産業	2,899	第2次産業	2,629
鉱 業	4	鉱 業	3	鉱業・採石業・ 砂利採取業	3
建設業	812	建設業	717	建設業	560
製造業	2,362	製造業	2,179	製造業	2,066
第3次産業	6,415	第3次産業	6,343	第3次産業	5,966
電気・ガス・熱供給・ 水道業	27	電気・ガス・熱供給・ 水道業	23	電気・ガス・熱供給・ 水道業	21
運輸・通信業	562	情報通信業	44	情報通信業	46
		運輸業	478	運輸業	461
卸売・小売業、 飲食店	2,304	卸売・小売業	1,673	卸売・小売業	1,544
		飲食店、宿泊業	1,510	飲食店、宿泊業	1,404
金融・保険業	139	金融・保険業	124	金融・保険業	122
不動産業	56	不動産業	42	不動産業	70
		医療、福祉	619	医療、福祉	717
		教育、学習支援業	270	教育、学習支援業	250
		複合サービス事業	235	複合サービス事業	163
サービス業	3,073			学術研究、専門・技 術サービス業	88
				生活関連サービス 業、娯楽業	406
		サービス業 (他に分類されないもの)	1,071	サービス業 (他に分類されないもの)	432
公 務 (他に分類されないもの)	254	公 務 (他に分類されないもの)	254	公 務 (他に分類されないもの)	242
分類不能の産業	5	分類不能の産業	26	分類不能の産業	199

資料：企画課

※ 平成22年国勢調査より産業分類が再編成された。

区 分	12年	区 分	17年	区 分	22年
総 数	1,016	総 数	981	総 数	915
第1次産業	470	第1次産業	440	第1次産業	410
農 業	—	農 業	—	農 業	—
林 業	—	林 業	—	林 業	—
漁 業	470	漁 業	440	漁 業	410
第2次産業	139	第2次産業	171	第2次産業	150
鉱 業	—	鉱 業	—	鉱業・採石業・ 砂利採取業	—
建 設 業	46	建 設 業	55	建 設 業	33
製 造 業	93	製 造 業	116	製 造 業	117
第3次産業	407	第3次産業	370	第3次産業	353
電気・ガス・熱供給・ 水道業	—	電気・ガス・熱供給・ 水道業	2	電気・ガス・熱供給・ 水道業	—
運輸・通信業	29	情報通信業	—	情報通信業	—
卸売・小売業、 飲食店	123	運 輸 業	26	運 輸 業	30
金融・保険業	8	卸売・小売業	85	卸売・小売業	79
不動産業	—	飲食店、宿泊業	120	飲食店、宿泊業	117
		金融・保険業	9	金融・保険業	6
		不動産業	—	不動産業	2
		医療、福祉	24	医療、福祉	26
		教育、学習支援業	27	教育、学習支援業	23
		複合サービス事業	23	複合サービス事業	20
サービス業	233			学術研究、専門・技 術サービス業	—
		サービス業 (他に分類されないもの)	37	生活関連サービス 業、娯楽業	21
		公 務 (他に分類されないもの)	17	サービス業 (他に分類されないもの)	13
				公 務 (他に分類されないもの)	16
分類不能の産業	—	分類不能の産業	—	分類不能の産業	2

資料：企画課

※平成22年国勢調査より産業分類が再編成された。

・日間賀島

各年10月1日現在

区 分	12年	区 分	17年	区 分	22年
総 数	1,197	総 数	1,181	総 数	1,077
第1次産業	543	第1次産業	502	第1次産業	431
農 業	—	農 業	—	農 業	—
林 業	—	林 業	—	林 業	—
漁 業	543	漁 業	502	漁 業	431
第2次産業	77	第2次産業	87	第2次産業	65
鉱 業	—	鉱 業	—	鉱業・採石業・ 砂利採取業	—
建設業	30	建設業	27	建設業	18
製造業	47	製造業	60	製造業	47
第3次産業	577	第3次産業	591	第3次産業	574
電気・ガス・熱供給・ 水道業	—	電気・ガス・熱供給・ 水道業	—	電気・ガス・熱供給・ 水道業	—
運輸・通信業	24	情報通信業	—	情報通信業	—
		運輸業	21	運輸業	17
卸売・小売業、 飲食店	133	卸売・小売業	122	卸売・小売業	109
		飲食店、宿泊業	317	飲食店、宿泊業	323
金融・保険業	12	金融・保険業	9	金融・保険業	6
不動産業	—	不動産業	—	不動産業	2
		医療、福祉	28	医療、福祉	26
		教育、学習支援業	29	教育、学習支援業	30
		複合サービス事業	24	複合サービス事業	25
サービス業	400			学術研究、専門・技 術サービス業	—
				生活関連サービス 業、娯楽業	14
		サービス業 (他に分類されないもの)	30	サービス業 (他に分類されないもの)	10
公 務 (他に分類されないもの)	8	公 務 (他に分類されないもの)	11	公 務 (他に分類されないもの)	12
分類不能の産業	—	分類不能の産業	1	分類不能の産業	7

資料：企画課

※平成22年国勢調査より産業分類が再編成された。

(5) 事業所（事業所・企業統計調査、経済センサスー基礎調査）

産業（大分類）別事業所数及び従業者数

産業大分類	南知多町		（篠 島）		（日間賀島）	
	事業所数	従業者数 人	事業所数	従業者数 人	事業所数	従業者数 人
平成13年10月1日	1,640	9,983	197	925	206	1,063
平成18年10月1日						
総 数	1,488	9,410	176	762	190	1,038
農 林 漁 業	9	82	4	39	1	6
鉱 業	2	4	—	—	—	—
建 設 業	118	494	16	42	10	33
製 造 業	174	1,632	17	202	6	52
電気・ガス・熱供給・水道業	1	10	—	—	—	—
情 報 通 信 業	2	6	—	—	—	—
運 輸 業	36	341	6	19	5	19
卸 売 ・ 小 売 業	413	1,751	45	107	42	141
金 融 ・ 保 險 業	11	78	2	7	1	9
不 動 産 業	12	109	—	—	—	—
飲 食 店 、 宿 泊 業	324	2,458	58	234	92	629
医 療 、 福 祉	61	788	5	19	3	14
教 育 ・ 学 習 支 援 業	45	321	3	31	4	36
複 合 サ ー ビ ス 事 業	25	308	2	22	4	53
サ ー ビ ス 業	239	860	16	36	20	41
公 務	16	168	2	4	2	5
平成21年7月1日						
総 数	1,490	9,713	164	775	180	1048
農 林 漁 業	16	161	4	52	2	11
鉱業、採石業、砂利採取業	1	2	—	—	—	—
建 設 業	114	444	12	32	9	19
製 造 業	168	1,654	17	187	7	69
電気・ガス・熱供給・水道業	1	11	—	—	—	—
情 報 通 信 業	4	10	—	—	—	—
運 輸 業 、 郵 便 業	43	405	6	21	4	19
卸 売 業 、 小 売 業	413	1,837	45	122	40	156
金 融 業 、 保 險 業	18	62	2	1	2	4
不 動 産 業 、 物 品 賃 貸 業	23	123	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	19	79	—	—	—	—

産業大分類	南知多町		(篠 島)		(日間賀島)	
	事業所数	従業者数 人	事業所数	従業者数 人	事業所数	従業者数 人
宿泊業、飲食サービス業	318	2,519	53	247	88	626
生活関連サービス業、娯楽業	118	384	7	12	10	28
教育・学習支援業	39	302	3	34	3	35
医療、福祉	59	879	4	18	4	19
複合サービス事業	20	239	1	5	3	45
サービス業	100	426	8	39	6	12
公務	16	176	2	5	2	5

資料：企画課

※H13・H18＝事業所・企業統計調査 H21＝経済センサス－基礎調査

(6) 工業（工業統計調査）

産業分類別事業所数・従業者数及び製造品出荷額等（従業者規模 4人以上の事業所）

平成21年12月31日現在

区 分	南知多町			（篠 島）			（日間賀島）		
	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等
総 数	105	人 1,273	万円 1,708,495	15	人 186	万円 173,752	5	人 46	万円 64,828
食 料 品	70	824	974,528	12	164	163,017	4	42	X
飲 料 ・ 飼 料	3	19	24,537	1	6	X	1	4	X
織 維	1	8	X	—	—	—	—	—	—
印 刷	1	4	X	—	—	—	—	—	—
化 学	1	7	X	—	—	—	—	—	—
プラスチック	21	335	664,569	—	—	—	—	—	—
はん用機械	1	8	X	—	—	—	—	—	—
生産用機械	1	4	X	—	—	—	—	—	—
輸 送 機 械	5	55	X	2	16	X	—	—	—
そ の 他	1	9	X	—	—	—	—	—	—

資料：企画課

※地方集計によるため後日経済産業省が公表する数値と異なることがある。

※「X」…事業所数が2以下の場合及び事業所数3以上の場合でも前後の関連で数値が判明する場合は、その集計数値を統計法により秘匿したもの。

(7) 漁業

① 漁業経営体の基本構成（漁業センサス）

区 分		篠 島			日間賀島			
		10年	15年	20年	10年	15年	20年	
漁業経営体数		229	214	204	346	339	307	
漁 船	無動力船隻数	—	—	—	—	—	—	
	船外機付船隻数	58	94	90	101	119	115	
	動力船	隻数	353	313	286	396	369	318
		トン数	2,291	2108	1974	1934	1925	1729

資料：産業振興課

② 主とする漁業種類別経営体数（漁業センサス）

区 分		篠 島			日間賀島		
		10年	15年	20年	10年	15年	20年
総 数		—	214	204	—	339	307
底 び き 網		—	19	18	—	63	50
船 び き 網		—	36	36	—	24	21
刺 網		—	33	33	—	48	43
は え 縄		—	16	7	—	11	12
釣		—	42	35	—	56	34
潜 水 器 漁 業		—	—	—	—	62	60
採 貝 ・ 採 藻		—	39	41	—	35	40
そ の 他 の 漁 業		—	29	17	—	40	42
海 面 養 殖		—	—	17	—	—	5

資料：産業振興課

③ 魚種別漁獲金額・漁獲量（属人集計）

単位：t（漁獲量）／百万円（漁獲高）

区 分		篠 島			日間賀島		
		20年	21年	22年	20年	21年	22年
漁獲量	海面漁業	7,291	3,140	5,984	4,903	3,410	4,353
	海面養殖業	1,529	1,148	1,414	678	525	936
	計	8,820	4,288	7,398	5,581	3,935	5,289
漁獲高	海面漁業	2,255	1,616	1,876	2,592	2,150	2,233
	海面養殖業	410	274	341	177	142	234
	計	2,665	1,890	2,217	2,769	2,292	2,467

資料：産業振興課・愛知県水産課

④ 魚種別水揚量（属人集計）

単位：上段（t）／下段（%）

区 分		篠 島			日間賀島		
		20年	21年	22年	20年	21年	22年
総	数	8,820 100.0	4,288 100.0	7,398 100.0	5,581 100.0	3,935 100.0	5,289 100.0
し	ら	4,699 53.3	2,398 55.9	2,434 32.9	2,608 46.7	1,287 32.7	1,249 23.6
い	か	1,573 17.8	405 9.4	2,799 37.8	589 10.6	291 7.4	1,313 24.8
の	り	1,499 17.0	1,118 26.1	1,384 18.7	661 11.8	509 12.9	922 17.4
と	ら	34 0.4	45 1.1	22 0.3	38 0.7	40 1.0	24 0.5
そ	の	1,015 11.5	322 7.5	759 10.3	1,685 30.2	1,808 46.0	1781 33.7

資料：産業振興課

※1%未満の魚種はその他に計上

⑤ 漁港施設の現況（漁港台帳、港勢調査）

区分	種 類		篠島漁港 (第2種県管理)		日間賀漁港 (第2種町管理)	
基本施設	外かく 施設	防波堤 (m)	1,682		1,642	
		護岸 (m)	1,385		5,399	
	けい留 施設	物揚場 (m)	2,513		1,601	
		船揚場 (m)	203		66	
水域施設	泊地 (m ²)	77,900		64,993		
機能施設	臨港道路 (m)		3,165		4,516	
	荷捌所 (か所、m ²)	2	3,392	1	200	
	製氷施設 (か所、トン)	1	39	1	20	
	貯氷施設 (か所、トン)	1	10	1	192	
	冷蔵施設 (か所、トン)	1	165	1	311	
	給油施設 (基、kl/h)	8	965	12	465	
	冷凍施設 (か所、トン)	1	10	—	—	

資料：建設課

※漁港台帳（平成24年3月末現在）、港勢調査（平成22年12月末現在）

(8) 保育所の状況

各年4月1日現在

保育所名	年次	園 児 数			
		総数	1～3歳	4歳	5歳
(私立) 篠島保育園	年	人	人	人	人
	19	48	16	15	17
	20	47	19	13	15
	21	46	21	12	13
	22	45	15	17	13
	23	44	16	10	18
24	40	20	10	10	
(町立) 日間賀保育所	年	人	人	人	人
	19	63	13	22	28
	20	44	12	13	19
	21	47	22	12	13
	22	61	27	22	12
	23	69	20	27	22
24	64	19	19	26	

資料：福祉課

(9) 小学校の状況

各年5月1日現在

学 校 名	年次	学級数	児 童 数						
			総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
(町立) 篠島小学校	年	学級	人	人	人	人	人	人	人
	19	7	113	17	21	21	16	21	17
	20	7	114	17	17	21	22	16	21
	21	7	108	15	17	17	21	22	16
	22	7	103	12	15	16	17	21	22
	23	7	95	12	12	16	17	17	21
24	8	92	18	12	12	15	17	18	
(町立) 日間賀小学校	年	学級	人	人	人	人	人	人	人
	19	7	123	20	24	28	18	21	12
	20	7	137	28	20	23	28	18	20
	21	8	134	19	27	20	23	27	18
	22	8	130	13	19	27	20	23	28
	23	7	112	12	13	18	26	20	23
24	7	111	22	13	13	18	26	19	

資料：学校教育課

(10) 中学校の状況

各年5月1日現在

学 校 名	年次	学級数	生 徒 数			
			総数	1年	2年	3年
(町立) 篠島中学校	年	学級	人	人	人	人
	19	4	54	16	21	17
	20	4	54	17	16	21
	21	4	54	21	17	16
	22	4	54	16	21	17
	23	4	58	22	15	21
24	4	58	20	22	16	
(町立) 日間賀中学校	年	学級	人	人	人	人
	19	3	61	14	23	24
	20	3	47	12	13	22
	21	4	45	20	12	13
	22	4	50	17	21	12
	23	4	65	27	17	21
24	4	67	23	27	17	

資料：学校教育課

(11) 高等学校の状況

各年5月1日現在

学 校 名	年次	学級数	生 徒 数			
			総数	1年	2年	3年
(県立) 内海高等学校 篠島校舎	年	学級	人	人	人	人
	12	3	24	7	8	9
	13	3	21	6	7	8
	14	2	12	0	5	7
15	1	5	5	0	0	5
(県立) 内海高等学校 日間賀島校舎	年	学級	人	人	人	人
	12	1	2	0	0	2
	13	—	—	—	—	—
	14	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—

資料：内海高等学校

※日間賀島校舎は平成12年度末に、篠島校舎は平成15年度末に廃校となった。

(12) 定期航路の状況

平成24年4月現在

島別	区間	事業者	距離	所要時間	就航船舶名			1日当たり就航回数(往復)	運賃等 (高速船片道)
						トン数	定員		
篠島	師崎 ～ 篠島	名鉄海上観光船(株)	km	分	高速船 海鷗1	t	人	23～24 フェリー 6	大人 680 円 (急行料含む) 小人 340 円
	5.5		10 フェリー 20	19.0					
日間賀島	河和 ～ 篠島	名鉄海上観光船(株)	16.5	30	海鷗1 1	19.0	92	11	大人 1,360 円 (急行料含む) 小人 680 円
	海鷗1 2				19.0	93			
日間賀島	師崎 ～ 日間賀島	名鉄海上観光船(株)	4.0	10 フェリー 20	海燕2 3	19.0	80	23～24 フェリー 5	大人 680 円 (急行料含む) 小人 340 円
	イーグル1				35.0	80			
日間賀島	河和 ～ 日間賀島	名鉄海上観光船(株)	13.5	西:20 東:25	イーグル2	46.0	96	11	大人 1,360 円 (急行料含む) 小人 680 円
	イーグル3				45.0	94			
					はやぶさ	61.0	125		
					フェリー しまゆり	276.0	93		

資料：地域振興課

(13) 離島交通費助成事業

平成24年4月現在

区分	区間	助成額	割引券配布枚数
普通助成	日間賀島・篠島～師崎相互間	1往復につき大人 360 円	年間大人 16 枚 年間小人 14 枚
	日間賀島・篠島～河和相互間	1往復につき小人 180 円	
通学定期助成	日間賀島・篠島～師崎相互間 日間賀島・篠島～河和相互間	1か月につき 3,980 円	
入寮者帰省助成	日間賀島・篠島～師崎相互間 日間賀島・篠島～河和相互間	1往復につき 360 円	年間 36 枚

※入寮者帰省助成は、三谷水産高校「愛水寮」入寮者に適用

資料：地域振興課

(14) 目的別観光客数の推移

島名	年次	総数	海水浴客	釣り客	その他
	年	千人	千人	千人	千人
篠島	18	236	14	109	113
	19	233	12	108	113
	20	236	11	110	115
	21	232	13	107	112
	22	226	10	105	111
	23	207	10	96	101
日間賀島	18	258	23	99	136
	19	277	24	99	154
	20	287	30	100	157
	21	285	33	92	154
	22	284	33	98	153
	23	253	23	90	140

資料：産業振興課

(15) 医師

・篠島

知多厚生病院
 附属篠島診療所
 毎週5回（月～金）
 平成3年10月開設
 平成5年2月診療所建設

・日間賀島

安井健三（やすい けんぞう）
 外科、内科、皮膚科
 毎週4回（火水金土）
 平成12年3月診療所建設
 平成18年8月1日より開設し、
 医師は現在16代目である。

資料：保健介護課

(16) 水道事業の現況（平成24年3月31日現在）

水道事業者 南知多町水道課
 給水区域 篠島・日間賀島及び西尾市佐久島
 給水人口 4,229人
 水道普及率 100%
 年間給水量等 ① 年間給水量 640千m³
 ② 給水能力 4,300m³/日
 1日当たり給水量 ① 日最大 3,404m³
 ② 日平均 1,749m³

※平成12年度末に愛知三島水道企業団は解散し、平成13年度から離島水道事業は南知多町水道事業に一元化された。

資料：水道課

(17) 廃棄物処理施設整備状況

区 分	島 名	処理能力	竣工年月	建設事業費 千円
し尿処理施設	篠 島	(本土で処理)	—	—
	日間賀島	(本土で処理)	—	—
ごみ焼却処理施設	篠 島	(本土で処理)	—	—
	日間賀島	(本土で処理)	—	—
埋立処分地施設	篠 島	8,316 m ³	S57.3 (H3~4 改良)	303,909
	日間賀島	26,625 m ³	H6.3	478,435
漁業集落排水事業	日間賀島	計画処理人口 5,800 人	H16.4 (全島供用開始)	2,683,115

資料：環境課、水道課

(18) 自動車等の保有状況

各年4月1日現在

区 分	篠 島			日間賀島		
	21年	22年	23年	21年	22年	23年
軽 自 動 車	716 台	685 台	667 台	577 台	551 台	588 台
二 輪 車	5	5	6	27	26	25
原 動 機 付 自 転 車	691	679	664	877	860	814
小 型 特 殊 自 動 車	16	16	17	0	0	0
小 計	1,428	1,385	1,354	1,481	1,437	1,427

資料：税務課

(19) 消防施設等の整備状況

各年4月1日現在

区 分		篠 島			日間賀島			
		22年	23年	24年	22年	23年	24年	
消 防 団 員 (人)		66	66	66	66	66	66	
消防機械	小型動力ポンプ (台)	6	6	6	6	6	6	
	小型動力ポンプ積載車 (台)	5	5	5	4	4	4	
	消防広報車 (台)	1	1	1	2	2	2	
消防水利	消火栓 (基)	17	17	17	12	12	12	
	防火水槽	40 m ³ 以上 (基)	9	9	9	11	11	11
		40 m ³ 未満 (基)	0	0	0	0	0	0

資料：防災安全課

※消火栓は水利基準以上のもの

(20) 島の歴史（明治以降）

篠島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明 治			
1869	2	名古屋藩に属す	
1871	4	額田県第 1 大区に属す	
1872	5	愛知県成立、第 7 大区に属す	
1873	6		龍門学校開校
1874	7	当時戸数 267 戸、人口 1,066 人（男 574 人、女 432 人）	篠島小学校と改称
1876	9	師崎村、日間賀島村と合併し鴻崎村となる	
1881	14	鴻崎村が分かれ篠島村となる	
1887	20	この頃「おしょくり船」（生鮮輸送船）経営される	小学校令により篠島学校設置
1892	25		
1898	31	亀崎衣ヶ浦汽船 k k 「豊勢丸」貨客定期航路に就航	
1899	32		古城館が設立される
1900	33	県水産試験場本場が篠島村に移転、製造工場新設	
1902	35	篠島村郵便受取所開設	
1903	36	県水産試験場に製造工場を増築し、缶詰製造機等を完備	
1905	38	篠島村郵便受取所が篠島郵便局と改称	
1907	40	この頃篠島駐在所が設置される	
1908	41		篠島尋常高等小学校となる
1911	43	篠島村漁業組合設立登記公告	篠島尋常高等小学校、東山 1 番地に校舎新築
大 正			
	初期	当時は松よりタテしぼりを導入	
1913	2		山弘法巡り始まる
1918	7	篠島電気株式会社による送電開始	小学校に水産補修学科を併設
1919	8	県水産試験場本場が県庁に移転、製造設備を篠島に置く	
1920	9	師崎～篠島間の無線電信開通	
1922	11	県水産試験場が篠島の製造工場を廃止	
1924	13	台風被害甚大	
1926	15		
昭 和			
1927	2	役場改築	
1933	8	篠島漁港完成	
1934	9	海底電話線敷設、加入者 12 名	
1937	12	シラス漁始まる	
1941	16		篠島国民学校と改称
1947	22	中部配電株式会社による海底ケーブルで知多半島（片名）より送電開始	篠島村立篠島小学校と改称、篠島村立篠島中学校創立
1948	23		
1949	24	篠島漁業協同組合設立	
1952	27	篠島漁港が第 2 種漁港に指定される 遠洋漁業開始	
1953	28	台風 13 号による被害甚大	篠島中学校校舎を現在地に新築し移転
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	
1958	33	三河湾国定公園に指定される	
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大	
1961	36	篠島村、合併により南知多町となる	篠島保育園開所
1962	37	簡易水道完成（海底送水管により愛知用水通水）	篠島小学校給食室竣工 篠島中学校技術教室竣工
1963	38		篠島中学校給食室竣工
1964	39		41 年から 43 年にかけて海底遺跡調査
1968	43	篠島支所竣工	
1969	44	ごみ焼却場完成（処理能力 4t/日）	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1970	45	ワカメ養殖始まる 電話自動化 篠島区診療所新築、篠島消防詰所併設 篠島地区老人センター開設 簡易水道拡張工事完了 篠島漁港完工	
1971	46	篠島老人憩の家開設	篠島小学校屋内運動場完成
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	フェリー「オリーブ」就航	
1974	49	公有水面埋立、面積 172,795 m ²	
1975	50	篠島漁港地先埋立工事完了	
1976	51		万葉歌碑建立
1977	52		篠島中学校へき地集会室兼屋内運動場完成
1978	53	知事、愛知三島視察 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	
1979	54	し尿処理施設完成(処理能力 4k1/日) 定期航路に高速船「海燕」が導入される	篠島中学校校舎改築竣工 「篠島史跡」復刻
1980	55		篠島中学校校舎改築、給食室竣工 県立内海高等学校篠島分校開校 篠島開発総合センター完成
1981	56	展望台完成 稚アワビ初放流	
1982	57	不燃物埋立処分地完成(埋立容量 4,141m ³) 篠島沖でフェリー海難訓練実施	
1984	59	町防災訓練実施(篠島中学校) フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	
1985	60		第1回篠島ハイキング大会開催 神明社貝塚発掘調査
1986	61	篠島支所が篠島開発総合センターへ移転	篠島小4年生が野島で野営体験(「野島サバイバル」) 篠島小学校校舎大規模改修
1987	62	篠島パークゴルフ場開設	
1988	63	ごみ処理施設完成(処理能力 5t/日) 篠島乗船センター全面移転 北山公園完成	篠島保育園新園舎完成
平成			
1989	元		帝井が町史跡に指定される
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察 篠島漁港(加工場用地)完成	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 知多厚生病院附属篠島診療所開設	
1992	4	不燃物埋立処分地嵩上工事完了(埋立容量 4,141 m ³ → 8,316 m ³)	県立内海高校篠島分校体育館完成 ふるさとづくり事業により舟型山車完成
1993	5	新診療所施設完成	
1994	6	第3回愛知の豊かな海づくり大会	南風ヶ崎遺跡発掘調査
1996	8	国土利用計画法による監視区域を解除 つり天国(篠島漁協直営)開設	篠島小学校プール完成
1998	10	ごみの分別収集開始 篠島パークゴルフ場閉鎖	古式に則った伊勢神宮へのおんべ鯛奉納行事復活 正法禅寺の梵鐘・雲版が町文化財に指定される
2000	12	海底送水管敷設替完了(師崎～篠島)	
2001	13	生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散(離島水道事業を南知多町水道 事業に一元化)	

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
2002	14	篠島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置 篠島ごみ処理施設閉鎖（本土側クリーンセンターへ搬送開始）	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15		篠島小学校が第 35 回中日教育賞受賞
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」開催	県立内海高校篠島校舎閉校
2005	17	役場支所を廃止し篠島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2006	18		篠島小学校移転（南風崎 7 番地、中学校と同一敷地） 山弘法を復興し、島弘法と改称
2007	19	篠島海水浴場を「サンサンビーチ」と命名	
2008	20	篠島観光ガイド発足 しらすのマスコットキャラクター「しらっぴー」を作成	
2009	21		「島の宝 100 景」に「伊勢神宮に奉納される御幣鯛」が選ばれる
2011	23	知事、愛知三島視察(23. 10. 10)	名古屋城築城の際に用いた矢穴の残った残石を名鉄海上観光船乗り場前の広場に設置

日間賀島

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
明治			
1869	2	名古屋藩に属す	
1870	3	三軒の押送り船	
1871	4	額田郡第1大区に属す	神明八王子宮を日間賀神社と改称
1872	5	愛知県成立、第7大区に属す	
1873	6		鳴鳳学校を大光院に創設
1876	9	師崎村、篠島村と合併し鴻崎村となる	
1877	10		日間賀学校と改称
1881	14	鴻崎村が分かれ日間賀島村となる	
1887	20	共同販売所を設立	簡易小学日間賀学校と改称
1888	21	角石航路標識建設	
1889	22	日間賀島村役場を大光院に設置	
1890	23	この頃水害で小戸浜の家が流される	
1891	24	水産社が西里に設立（魚類の販売を行う）	日間賀尋常小学校と改称
1892	25		日間賀尋常小学校に補修科を設置
1895	28	この頃「大福丸」という発動機船運航	
1896	29	消防組設立	
1901	34	呑海院全焼、新井浜、小戸浜、久淵港の石垣工事 この頃から養蚕開始	
1902	35	日間賀郵便受取所を開設	この頃小学校運動場拡張
1903	36	東西の部落に漁業組合販売所が設立	
1904	37		呑海院再建
1905	38	日間賀郵便受取所が日間賀郵便局に改称	
1906	39	鈴木甚助氏ら大阪商船から汽船を借用、運送開始	
1908	41	島の養蚕盛んになる	
1911	44		日間賀尋常小学校校舎を現在地に新築
大正			
1912	元	日間賀漁業協同組合設立 役場が小戸地30番地から新井浜68番地に移転	
1913	2	この頃日間賀島駐在所設置	
1914	3	北川仲造氏が漁船に初の発動機取り付け 東西に保証責任漁業協同組合を設立	
1919	8	有松よりタテしぼり導入	
1925	14		日間賀尋常高等小学校と改称
1926	15	養蚕組合設立	
昭和			
1930	5	知多湾電気株式会社による送電開始、電燈点燈 日間賀～師崎間に海底電話線敷設 電信・電話業務取扱いが始まる	
1932	7	里中、久淵、小戸浜、新井浜、西浜、北浜などの浚渫護岸工事施工	
1936	11	電話回線が9本に増設	
1940	15	役場が永峯19に移転	
1941	16	久淵港修築工事、新井浜護岸工事	日間賀国民学校と改称
1942	17	日間賀村農会が設立され役場内に事務所設置	
1943	18	東西漁協が合併し日間賀島村漁業組合が発足、役場内に事務所設置	
1944	19	日間賀島村農業会設立、日間賀島村漁業会設立	
1947	22	中部発電株式会社による海底送電ケーブルで知多半島から送電開始	日間賀島村立日間賀小学校と改称 日間賀島村立日間賀中学校創設
1948	23	日間賀島村農業協同組合と改称、漁業会市場を併設	日間賀中学校校舎新築

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1949	24	漁業協同組合が東西に分離	日間賀中学校校舎増築
1951	26	農業協同組合設立、農業協同組合支所が新井浜に開設 東西1号線の整備	
1952	27	日間賀漁港が第2種漁港に指定	
1953	28	台風13号により被害甚大	
1955	30	約千本の松を社御座に植林	
1956	31	農協支所が廃止	
1957	32	離島振興対策実施地域に指定される	島内にテレビが入る
1958	33	三河湾国定公園に指定される	
1959	34	伊勢湾台風による被害甚大	日間賀小学校校舎災害復旧工事
1960	35		北地古墳群(4号墳、6号墳)発掘調査
1961	36	日間賀島村、合併により南知多町となる	日間賀中学校校舎新築 新井浜貝塚発掘調査
1962	37	簡易水道が完成(海底送水管により愛知用水通水)	上海2号墳発掘調査
1964	39		日間賀中学校校舎改築
1965	40		日間賀給食センター竣工
1967	42	島内の民宿業始まる	
1968	43	東西の漁業協同組合が合併し日間賀島漁業協同組合となる 海苔養殖始まる	
1970	45	日間賀地区診療所新築 簡易水道拡張工事完了 電話自動化	日間賀小学校校舎改築竣工
1972	47	愛知三島水道企業団発足	
1973	48	愛知三島水道企業団による広域簡易水道増補改良事業竣工 フェリー「オリーブ」就航	日間賀保育所開所
1974	49	農用地開発事業開始 ごみ焼却場完成(処理能力4t/日) 日間賀島西老人憩の家開設	
1976	51	日間賀島東老人憩の家開設	日間賀小、中学校へき地集会所兼屋内運動場完成 北地古墳群(5号墳、8号墳)発掘調査
1978	53	知事、愛知三島視察 団体営農地開発事業日間賀地区完了、面積15.4ha 中部電力が高圧海底ケーブル敷設	北地古墳群(11号墳、14号墳)発掘調査
1979	54	し尿処理施設完成(処理能力4kl/日) 定期航路に高速船「海燕」が導入される	全国へき地教育研究大会の開催(日間賀中学校) 日間賀島公民館完成
1980	55	不燃物埋立処分地完成	県立内海高校日間賀島分校開校
1982	57	日間賀島農協、南知多農協と合併	
1983	58	初の本格的な防災訓練実施 日間賀島西老人憩の家竣工 町防災訓練(日間賀小学校)	第1回日間賀島さわやかジョギング大会
1984	59	海底送水管一部敷設替 フェリー乗船場移転、フェリー「はまつばき」就航	日間賀中学校特別教室完成 内海高校日間賀島分校体育館完成
1985	60	海底送水管敷設替完了	北地古墳群(9号墳)発掘調査
1987	62		日間賀神社のお神楽が30年ぶりに復活
平成			
1989	元	日間賀島のり加工団地開業(新井浜港)	日間賀島資料館開館
1990	2	国土利用計画法による監視区域に指定 知事、愛知三島視察 東浜海水浴場「サンライズビーチ」オープン	
1991	3	三河湾地域リゾート整備構想重点整備地区に指定 西浜海水浴場「サンセットビーチ」オープン	
1992	4	ごみ処理施設完成(処理能力5t/日)	ふるさとづくり事業によるタコのモニュメント完成

西暦	年号	政治・経済・社会	教育・文化
1994	6	県内離島初の信号機点灯 わかしやち国体炬火採火式（サンライズビーチ）	
1995	7	日間賀島おみやげセンター完成	
1996	8	国土利用計画法による監視区域解除	
1997	9		新井浜貝塚発掘調査
1998	10	ごみの分別収集開始	
2000	12	日間賀島診療所完成（4月より業務開始）	
2001	13	生きがい活動支援センター設置 愛知三島水道企業団解散（離島水道事業を南知多町水道事業に一元化）	県立内海高校日間賀島校舎閉校
2002	14	日間賀島し尿処理施設閉鎖（本土側衛生センターへ搬送開始） 行政情報システム整備事業により住民用端末設置	学校給食調理施設を本土側の施設に統合
2003	15	漁業集落排水施設一部供用開始（8月より）	第1回市民サイクルパラダイス in 日間賀島
2004	16	フェリー「しまゆり」就航 国土交通省による「離島ツアー」実施	
2005	17	役場支所を廃止し日間賀島サービスセンターを開設 師崎港駐車場供用開始	
2008	20	国土交通省「地域いきいき観光まちづくり 2008」滞在力のあるまちに選定	サンセットビーチに時計台建造
2009	21		「島の宝 100景」に「ほうろく祭り」が選ばれる 子育て支援センター「ちびっこひろば」開設
2011	23	知事、愛知三島視察（23.10.10）	

(21) トピックス

篠島

◇「島弘法」巡り

篠島は古くから歴史の島として知られ、今も数多くの史跡、名勝が残っている。漁業が盛んな島であるが、明治の終わりごろ島の漁船に海難事故が相次ぎ、中には命を落とした人もいた。そこで遺族を中心とする島民の有志が集まり、犠牲者の霊を慰め、海上の安全と大漁を願って島内の海を見渡せる道沿いに八十八体の弘法様をつくったのが「山弘法」の始まりとされている。以来いつからか春の弘法命日の日には、島民がこぞってお弁当を持ち弘法巡りをするようになり、この日は学校なども休みとなって島民の手軽な春の行楽として定着していたが、昭和40年代の経済成長期に入ると次第に「山弘法参り」をする人も少なくなっていく。

そんな中、数年前より若手の町観光協会篠島支部会員のなかで「山弘法をもう一度見直してみてもどうか」との声が広がり、昨年、支部で事業化が承認され広報宣伝部の若手を中心におかみ会なども加わって取り組みが始められた。

今回の復旧事業で「山弘法」の風習をもう一度見直し再整備することで、名称を「島弘法」と変えて新しい観光資源とし、また、海の見えるコースを歩いて回るということで、来島客だけでなく島民にも篠島の景観の美しさを感じてもらい、健康づくりにも役立ててもらえるもの、さらには、島民に島の文化を再認識してもらうきっかけになりうるものと期待されている。

今後は「島弘法」の中心コースとなる棚橋～牛取～赤石地区をはじめとする島内全域の環境美化・整備などをすすめていくことで、子供たちにも島を愛する心の育成・郷土の誇りと感じてもらうよう、また、「島弘法」が島の「宝」、「光」となるよう活動の輪を広げていくことが計画されている。



弘法様 (第9番)



幟旗と祠が整備された島弘法



弘法様の命日に行われたPR活動
(あさり汁等の振る舞い)

◇篠島小学校の郷土学習

篠島小学校では、郷土を誇りに思う気持ちを育もう、自分たちで島のためにできることをしようと、児童が観光案内看板の作成や、地引き網漁の体験、郷土料理実習などに取り組んでいる。

観光案内看板は、6年生児童が5班に分かれ、縦60cm、横90cmの板を使って18年6月から手作りで制作したもので、「清正の枕石」や「万葉歌碑公園」などの史跡や名所に観光協会員らと協力しながら、絵と説明の書かれた看板を設置した。



万葉歌碑公園の看板

地引き網漁は、篠島でかつて盛んだった伝統漁法を体験し当時のことを学ぼうと20年ほど前から行なわれているもので、全校児童約110人が挑戦。事前に沖に仕掛けられた網を児童が二手に分かれ浜から引き寄せ、網の中にはキス、カレイ、アナゴ、タコ、小さなフグなどたくさんの獲物がピチピチと跳ねていた。

郷土料理実習は、地域素材の種類や生態、漁法を学び調理実習をすることで理解を深めることを目的に、平成13年度から始まり、近年は「郷土料理を学ぶ会」として5年生が7月にタイで、6年生は11月にトラフグで実習を行なっている。6年生のフグの実習では、島内のホテルでフグのさばき方、毒のある部分、食べられる部分などを学んだ後、学校に戻り調理師さんの指導でフグしゃぶ、フグ鍋、雑炊づくりに挑戦した。



地引き網漁体験



フグの調理実習

◇観光ガイド

平成20年7月に宿のおかみなどが中心となり、観光客と一緒にウォーキングしながら無料で島の名所を案内する観光ガイドが発足した。初級(90分コース)と上級(180分コース)の2コースがあり、篠島の歴史や自然の話をして観光客に篠島の魅力を広く伝えている。



観光パンフレット

◇特産宣伝キャラクター「しらっぴー」

篠島産しらすのブランド化を目指し、平成20年に水産物加工業協同組合が中心となって、しらす日本一をPRするしらすマスコットキャラクター「しらっぴー」が作成された。

その後、平成22年度に着ぐるみやのぼり旗も作成され島内外の祭事イベントに参加し、愛くるしい姿でお祭りを盛り上げている。観光イベントにおいては「しらす」と「篠島」のPR活動を行っている。



「しらっぴー」の着ぐるみとのぼり旗



名鉄海上観光船乗り場前

◇名古屋城築城の史跡

篠島は約400年前に加藤清正が名古屋城築城の際に石を求めた場所である。近年の調査で石を割る時に掘られた矢穴の残った残石が43箇所197個確認されている。

しかし、残石の多くは海岸線に存在し、見学には安全上問題があった。そのため、より多くの観光客の方々に安全に見学ができるように名鉄海上観光船乗り場前の広場に矢穴の残った残石と案内看板を展示した。

島内部にある採石地跡には工事用足場で見学路を確保し安全に見学していただくこともできる。

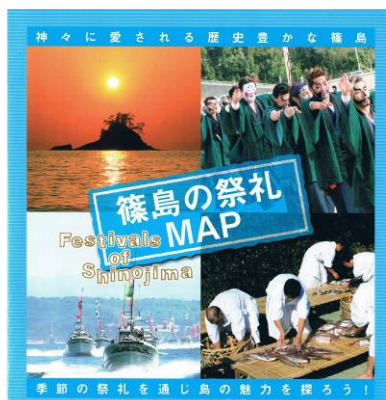
また、平成23年度に史跡巡りの案内看板の整備を行ったため、島の歴史を再認識してもらおうきっかけになりうるものと期待されている。



案内看板

◇篠島の祭礼 MAP 作成

篠島は古代志摩国（三重県）に属していた歴史もあり、伊勢神宮と深い繋がりがある。毎年10月に執り行われるおんべ鯛奉納祭は、塩漬けにした鯛を伊勢神宮に奉納する祭礼であり、千年以上に渡り続いているといわれている。



平成25年には伊勢神宮の式年遷宮が行われ神明神社も伊勢神宮より下賜された古材を用いて社殿の造営が行われる。この遷宮を機会として篠島の祭礼を記録する機運が高まり神々に愛される歴史豊かな篠島を発信するために篠島祭礼MAPが作成された。

篠島祭礼MAP（表紙）

篠島の祭礼MAPには篠島文化観光のためのおすすめ散策コース、「おまつりコース」、「歴史探索コース」の2コースが掲載されており、観光客のガイドブックとなっている。

日間賀島

◇新プログラムで滞在型観光地を目指す

日間賀島では、島の自然を満喫できる体験学習プログラムの実践により大きな成果を上げてきたが、社会環境の変化や近年の観光客の減少に対応するため、全国に通用する日間賀島のブランド化創業事業への取り組みを始めた。

この取り組みは、島のあらゆる資源を観光資源にして「疲れる旅から元気になる旅」をテーマに滞在型観光地を創出し全国展開するもので、既存の漁業体験プログラムやキッズアドベンチャーに、新たに海のリラクゼーションプログラム、低カロリーでミネラル分豊富な健康料理、イルカの介在療法などを加え、団塊の世代とジュニア世代をターゲットに何泊もできる日間賀島を目指している。

ア 漁業体験プログラム（期間 4月～10月）

漁村での生活を通して自然に触れ、漁師がインストラクターになって本格的な漁業体験をするもので、観光協会、漁業協同組合、漁業者（漁師）が一丸となって取り組むなど、若い世代を中心として交流人口の拡大に努めている。

「ようこそ日間賀島、自然体験ワールドへ」と題し、タコのつかみどり、底引き網漁、キス網漁、干物づくり、漁船クルージング、民宿ホームステイなど 20 以上のプログラムがあり、23 年度は延べ約 15,000 人が体験した。



案内パンフレット

イ キッズアドベンチャー

小学生を対象に夏休み期間中（平成 23 年度は 7 月 23 日～8 月 28 日）に行なわれるメニューである。アドベンチャーランド、シュノーケリング、いかだ作り、シーカヤック・ウミネコウォッチング、ハンドクラフトなどのほか、キャンプファイヤー、ナイトウォークといった夜間メニューもあり、23 年度は延べ約 3,500 人が体験した。

また、開催期間中の 7 月 23 日（土）～8 月 21 日（日）の間には、島内周遊無料バス「ぐるりーバス」が運行され、延べ約 14,300 人に利用された。



シーカヤック



ハンドクラフト

ウ リラクゼーションプログラム



島の中で移りゆく季節・自然を感じるだけでなく、ビーチに設置された潮風リラクゼーション、ウッドデッキでのマッサージ、海水フローティング、ビーチ・ポール・ウォーキング、砂浴など、生命の源である海を利用した、心と体を癒してくれるプログラムが用意されている。

案内パンフレット

エ 健康料理

漁師から始まった民宿や旅館では、伊勢湾、三河湾の多彩な魚介類を使って、どう料理をすれば美味しいのか、何が体に良いのかを知り尽くした漁師ならではの料理が受け継がれている。低コレステロールで、血液を浄化し、肝機能を高める働きもあるといわれるタコのように、魚介類は、もともと低カロリーでミネラルが豊富であり、魚介類をふんだんに使いながらも 1 人前 800kcal に抑えたコース料理などの開発が行われている。



オ 人とイルカとのふれあい事業

イルカとの触れ合いを通して自閉症児らの生活支援を目指すもので、18年度より実施されており、平成19年度には、一般の人に向けてのメンタルヘルス（心の健康）を増進するプログラムも実施された。自然の海を使った珍しい取り組みで、専門家の間では日間賀島という自然の中で集中的に取り組むことにより、効果の向上や受け入れ人数を増やすことができると期待されている。平成23年度には、延べ約10,000人がイルカとのふれあいを体験した。



イルカの掴まり方のレッスン



イルカとの触れ合い



西海水浴場清掃活動

カ ひまかドルフィンキッズ

子供たちがイルカの世話のお手伝いや島内の清掃活動を通し、コミュニケーションの大切さ、自然を大事にする気持ちを養うことを目的とした活動をしている。

また、南知多ビーチランド（美浜町）に出向き、イルカの生態や飼育方法などの見学プログラムもある。

平成 23 年度は地元の約 40 人の子供が参加した。

◇島民自主パトロール隊

平成 19 年に『明るく、安全・快適なリゾートアイランド』をスローガンに島民の有志による自主パトロール隊（PATOROL HIMAKA）が結成された。

島内をパトロール車両や徒歩で巡回して、島民や観光客に防犯や交通事故防止をアピールしている。

パトロール活動を開始してから犯罪件数が減少するなど効果が表れている。



島民自主パトロール隊

◇ 日間賀島ちびっこひろば

母親の子育てに関する不安を少しでも解消することを目的とし、平成 21 年 9 月に子育て支援センター「ちびっこひろば」を開設した。この「ちびっこひろば」は母親同士のコミュニケーションの場となっている。また、子供の遊び場として誰でも無償で利用できるため 平成 23 年度は 464 名の利用があった。



ちびっこひろば



(22) 位置図

